

## 【2022年12月 月間予定表 — 醍醐校 —】

## 12月の予定

1	木	
2	金	
3	土	土曜特訓⑦ (中3対象)
4	日	
5	月	
6	火	
7	水	
8	木	
9	金	
10	土	土曜特訓⑧ (中3対象)
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	休校日
18	日	
19	月	
20	火	
21	水	
22	木	【冬期講習】開始
23	金	
24	土	
25	日	授業日
26	月	休校日
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	休校日
31	土	休校日

※諸事情により予定を一部変更する場合があります。

## 【10月度のMVP】

## ●小6 H・T くん

模試や面接特訓において好成績！！  
このまま頑張っていくこう！

## ●小6 H・K さん

算数テストで好成績！！「比」のテストは  
全体の1位です！！次もこの調子でね！

## ●小5 S・Y さん

算数テストで好成績！！  
理社でも良い点が取れるようになってきた！

## 12月行事について

●冬期講習……………  
今年度最後の講習です。受験生は年明けの入試へ向けてラストスパートです。

## 【イノチはキセキ】

保護者の皆様、いつもお世話になっております。

「あなたに10分間だけ時間をあげます。世の中に残したい言葉を話してください。それをテレビのドラマのセリフとして使います」  
もしもそんなことを言われたら、あなたならどんなことを話しますか？  
これ、本当に実行した人がいるんです。  
彼は、10分間、ドラマの中で、台本にない言葉を語り続けました。

国民的人気俳優が、自分の言葉で語った最後の1シーン。  
石原裕次郎さんが、「太陽にほえろ！」に出演したときの話です。  
彼は10分間、命の大切さを語り続けたそうです。  
大動脈瘤になり、その後、がんになって亡くなった裕次郎さん。  
その10分が、彼の最後のテレビ出演でした。

命について考えてみると、小児がん病棟の子どもたちを思い出します。  
七夕の短冊に、「大人になりたい」って書いていました……。  
命って、きのう死んだ人が夢見た「今日」という日を生きる……ということ。

ベートーベンの代表曲のひとつ「田園交響曲」。  
この交響曲には、カッコウやコマドリなど、ウィーンの森に生息する小鳥のさえずりが音譜として出てきます。

20代後半から難聴に苦しみ、聴力を失い始めた自分に対して、せめて音譜の中で、その声を聞きたいというベートーベンの魂の欲求のような気がします。  
おそらく、ウィーンの森を散策していた頃には、自分が聴力を失うなど想像もできなかったでしょう。

失って初めてその大切さに気づいた。だから音譜に落とし込んででも聴きたかった。  
あたり前と思っていたことは、実はあたり前ではなかったのです。聴力を失った後、ベートーベンは音楽仲間からもバカにされて不遇の時代を送ります。

音楽家が音が聞こえない。想像を絶する辛さだったと思います。  
しかし、ベートーベンは部屋の中でひとり、口にくわえた指揮棒をピアノに押しつけ、頭蓋骨の震動を通じてピアノの音を感じ取っていたのです。

そんなベートーベンが最後の交響曲として作曲したのが「第九交響曲」。  
これは、彼の後半の生き方そのものです。「苦しみを越えて歓喜に至れ」というテーマで作曲され、いまでも年末になると必ず演奏されます。

実は、この「第九交響曲」の初演（1824年5月7日）は、ベートーベン自らが指揮棒を振っています。その初演の演奏後のこと。

ベートーベンは恐怖で客席を向くことができなかったといいます。  
「耳が聞こえないのをいいことに、誰も演奏してくれなかったのではないか……」  
「自分の思ってる音楽ではなかったのではないか……」

音がほとんど聞こえないのだから、当然の不安です。恐い。  
観客の顔が見られない。バカにされるのだろうか……。  
いつまでも客席を向こうともしないベートーベンに、コンサートマスターがそっと寄り添って、振り向かせました。

すると……  
そこにはスタンディングオベーションの観客のすがたがありました。  
歓喜。それはいつだって苦しみの先にあります。

朝、目が覚める。外に出ると空が見られる。小鳥のさえずりが聞こえる……。  
私たちが普段あたり前だと思っていること、それらはすべて奇跡なんです。  
世の中であたり前なことはひとつしかありません。「生まれたら死ぬ」たったそれだけ。  
それ以外は、すべて奇跡なんです。  
今日無事に生きていられる、それはとても幸福なことなんです。  
自分の大切な人が健在なのだとしたら、それもまた幸福なことです。

大好きな人が死なずに、今日生きていてくれる。それ以上の幸福ってありますか？

塾長 山田 大介